

2026年9月30日

池田食品株式会社に対する 「むさしのポジティブ・インパクト・ファイナンス」取扱いについて

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、2026年9月30日（水）、池田食品株式会社（代表取締役 池田 正、所沢市）に対し、「むさしのポジティブ・インパクト・ファイナンス」の取扱いを行いましたので、お知らせします。

むさしのポジティブ・インパクト・ファイナンスでは、国連環境計画・金融イニシアティブの「ポジティブ・インパクト金融原則」に基づき、お客さまの事業活動が経済・環境・社会に与える影響を総合的に評価（インパクト評価）し、プラスの影響（ポジティブインパクト）の最大化およびマイナスの影響（ネガティブインパクト）の軽減を目指す目標を設定します。あわせて当行では、取組状況のモニタリングや各種コンサルティングサービス提供など目標達成に向けた伴走支援を通じ、お客さまのサステナビリティ経営を後押しします。

池田食品株式会社は所沢市を本拠に、ナンやフォカッチャに代表される世界の特色あるパンの製造・販売を主力事業とする食品メーカーです。原材料には県産小麦をはじめとした最高品質の国産小麦粉を使用するとともに、厳格な品質・衛生管理態勢のもと安全・安心かつ質の高い製品づくりに注力しています。

環境負荷軽減・資源有効活用の取組みとして、生地端材・パンくずの発生を最小限に抑える工程最適化や余剰品・規格外製品抑制に向けた HACCP に基づく工程管理徹底などフードロス削減を積極的に推進しているほか、地元所沢市・近隣地域を中心にシニア層・主婦/主夫層、パートタイマーなど多様な人材を積極的に採用し、地域における柔軟な働き方の実現や雇用創出にも貢献しています。

今般のポジティブ・インパクト・ファイナンスでは、同社の社会課題解決の取組みを一層加速するべく、インパクト評価に基づき、「地産地消の推進による地域農業支援及び地域経済の活性化」「事業活動における資源効率向上と廃棄物削減の推進」「多様な働き方の推進と働き続けやすい職場環境の形成」の3テーマのもと目標を設定し、その達成を目指していきます。

1. 企業概要

企 業 名	池田食品株式会社
代 表 者	代表取締役 池田 正
所 在 地	埼玉県所沢市北原町899-1
事 業 内 容	パン製造業

次ページへ

2. ポジティブ・インパクト・ファイナンスの概要

(1) 契約内容等

契 約 締 結 日	2026年9月30日（水）
融 資 金 額	5,000万円
融 資 期 間	3年
資 金 使 途	運転資金
イ ン パ ク ト 評 価	株式会社 ぶぎん地域経済研究所
第 三 者 評 価 機 関	株式会社 格付投資情報センター（R&I）

(2) 特定したインパクトと測定するKPI

	テーマ	目標/KPI	関連するSDGs
社会面・経済面	地産地消の推進による地域農業支援及び地域経済の活性化	・2029年6月期までに埼玉県産小麦を使用した商品数を累計5個、販売個数を年間10万個にする。 (2026年6月期：取扱商品数2個、販売個数年間19,880個)	 
環境面	事業活動における資源効率向上と廃棄物削減の推進	・2029年6月期までに製品廃棄率(*)を5%以下に削減する。 (2026年6月期：6.09%) *年間製品廃棄量÷年間製品総重量 ・2029年6月期までに食品リサイクル率を50%以上に向上させる。 (2026年6月期：1%未満)	
社会面	多様な働き方の推進と働き続けやすい職場環境の形成	・2029年6月期までに有給取得率を70%以上に向上させる。 (2026年6月期：56%) ・2029年6月期までに従業員を5名以上増やす。 (2026年6月期：62名)	

https://www.musashinobank.co.jp/corporate/pif/pdf/achievements_260930.pdf

以 上

報道機関からのお問い合わせ先
 法人コンサルティング部 崎谷 健史・新井 亮
 TEL (048) 641 - 6111 (代)